

大正期・昭和初期

温暖な気候が好まれ、多くの邸宅、別荘地が建設されました。須磨寺公園周辺には約千本の桜が植えられ桜の名所となり、遊園地としてもたくさんの人でにぎわっていました。また境浜海水浴場は、夏のレクリエーションとして大人気でした。



須磨海水浴場(大正期)



須磨寺遊園地の桜(大正期)



一の谷付近(大正期)



武庫離宮(大正期)



離宮道(大正期)



境浜停留場付近を走る兵庫電気軌道(現在の山陽電鉄)(昭和初期)



境浜海水浴場(昭和初期)



みなとの祭 天神下付近(昭和初期)



須磨の漁業風景(昭和初期)



板宿全景(昭和初期)



須磨寺堂谷池(昭和初期)

昭和中期

昭和20年代から40年代の海の日には須磨海岸で納涼花火大会が行われ、昭和30年代後半には、みなとの祭で区民全体が楽しめるような行事「時代風俗行列」が行われていました。北須磨地域は田んぼや畑があり、農村風景が多くみられました。



須磨寺公園と堂谷池(昭和20年代)



須磨浦公園(昭和20年代)



多井畑厄神八幡宮(昭和20年代)



網敷天満宮(昭和20年代)



須磨観光ハウス(昭和20年代)



一の谷からの風景(昭和20年代)



禅昌寺周辺(昭和20年代)



奥妙法寺の集落(昭和20年代)



車付近から須磨アルプス方面(昭和20年代)



多井畑の集落(昭和20年代)



白川付近(昭和30年代)



時代風俗行列 天井川付近(昭和30年代)



海上提灯行列(須磨海浜公園沖)(昭和20年代)



みなとの祭 神宿通付近(昭和29年)